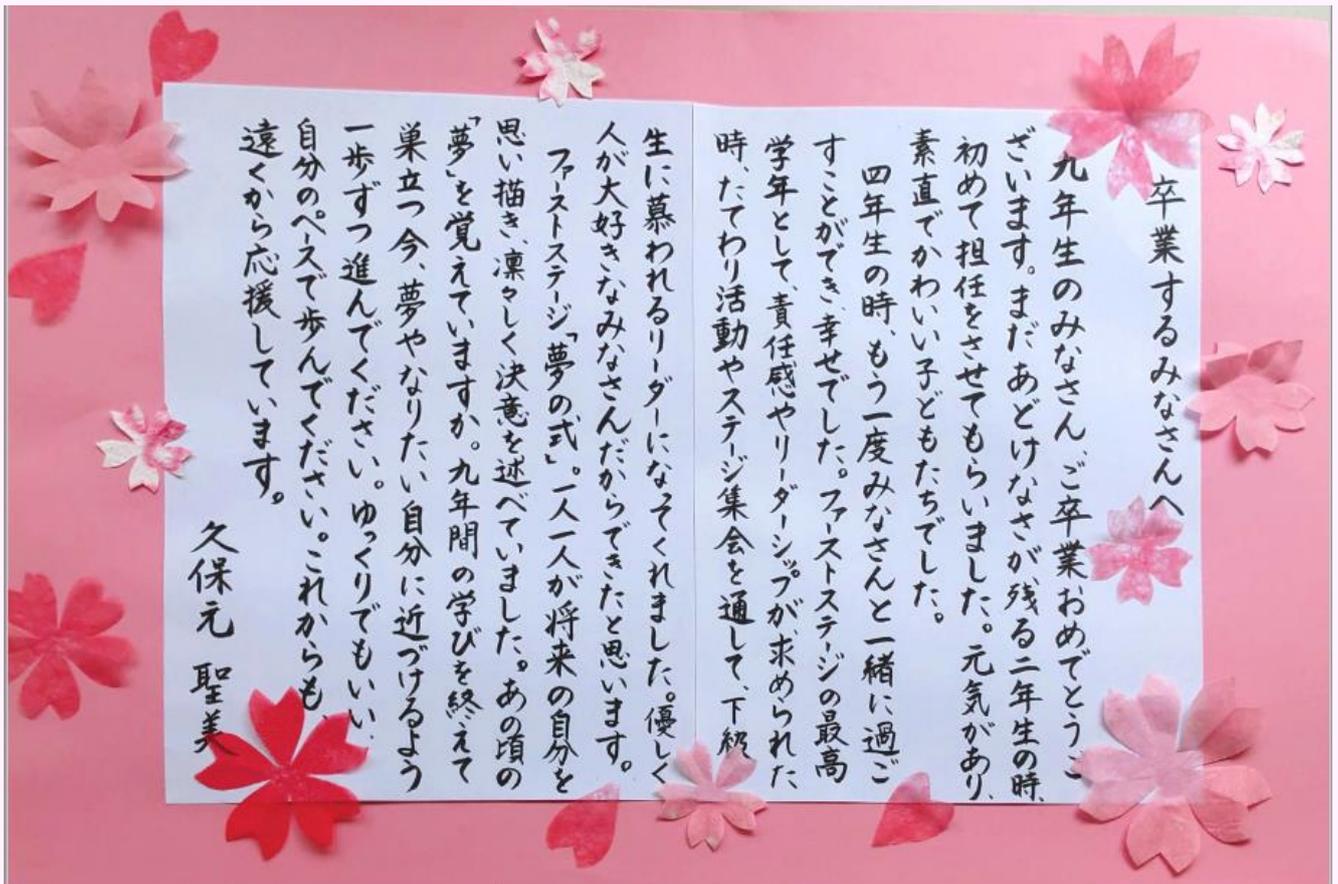




# 君たちは輝く9年生だ



卒業するみなさんへ

9年生のみなさん、ご卒業おめでとうございませう。まだあどけなさが残る2年生の時、初めて担任をさせてもらいました。元気があり、素直でかわいい子どもたちでした。

4年生の時、もう一度みなさんと一緒に過ごすことができて、幸せでした。ファーストステージの最高学年として、責任感やリーダーシップが求められた時、たてわり活動やステージ集会を通して、下級

生に慕われるリーダーになすくれました。優しく人が大好きなみなさんだからだと思います。

ファーストステージ「夢の式」。一人一人が将来の自分を思い描き、凍々しく決意を述べていました。あの頃の夢を覚えていますか。9年間の学びを終えて巣立つ今、夢やなりたい自分に近づけるよう一歩ずつ進んでください。ゆっくりでもいい、自分のペースで歩いてください。これからも遠くから応援しています。

久保元 聖美

9年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

みなさんの入学と同時に、「私も一緒。ここではみんな、1年生だなあ。」と思ったことを思い出します。また、「9年間を過ごすって、どういうことなんだろう？9年後の姿を見たいなあ。この学校に教職員として、一緒に居られるのかなあ？」と素朴に感じたことも思い出します。

給食の初日が無事に迎えられるか心配しながら、調理員さんと準備を始めました。初日のメニュー、スパゲティのミートソース煮をみなさんに用意できたことや、みんなのクラスを回ったとき、緊張の面持ちで給食を食べていたことは、今でも覚えています。

みなさんとは、6年間、一緒に過ごしました。

中学生の姿は、ホームページで、また、近くを通った折に、見ていました。みなさん、立派に大きくなって、嬉しい限りです。

9年後の今日、夢に描いた「卒業」の節目は、今までとは違う形ではありますが、9年間を東山開晴館で初めて過ごしたみなさんは、注目の学年でもあり、9年生の姿をみんなが思い描いた人たちなので、きっと、素晴らしい姿を見せてくれると思います。

特別な1日が始まります。そして、これからの夢に向かうスタートの日でもあります。今回のようなことがこれからも起こるかもしれませんが、地に足つけて、ピンチをチャンスに変えられるたくましい大人になってください。いつまでも応援しています。

小山 ひとみ



2011年4月18日(水)

きょうは **カレー** の日

